

●集落

路面より低い屋敷、ふく木の垣根、白砂の道路など沖縄の昔ながらの面影を今に残す渡名喜島独特の景観は映画「群青」のロケ地に指名されたほど。平成12年に国から島全体を重要伝統的建造物群保存地区に選定された。



●カワラナデシコ

平成4年7月に村花に指定された。村のあちこちで見かけることができる。

科名：ナデシコ科/属名：ナデシコ属
和名：河原撫子
学名：Dianthus superbus var. longicalycinus
名の由来「なでしこ」は、万葉集・山上道良の由來「なでしこ」は、秋の七草に記述がある。その後、中国から「なでしこ」に似た植物が渡来した。それを「河原撫子（からなでしこ）」として、日本古来の「なでしこ」を、河原撫子（かわらなでしこ）大和撫子（やまとナデシコ）と区別した。
平成4年7月1日に村花に指定される。



●ヒーターティ

唐船が那覇に行く際、急ぎそれを王府に知らせるための監視台。船が見えたら狼煙をあげて久米島へ渡名喜へ座間味へとリレーして王府に伝えていた。現在は整備されておらず、その場所に行くことはできない。



●農地の地割遺構

渡名喜島の地割制度の遺構は、沖縄独自の土地制度=地割制度で、それは、20世紀初頭まで県内各地で存続していた土地の部落共有制度でした。このような独特な地割制度によって形成され整然とした耕地は、近年のほ場整備事業によって大部分が改められましたが、現在でもその一部が保存されています。写真の場所は東大道原地区



●段畑

渡名喜集落を取りまく山丘を見ると、山頂に至るまで段々畑跡のあることが確認できます。これは、島の耕地が乏しいことから、明治20年代に食料増産のために山を焼いて開墾地を広げた結果です。当時、農業は主に女性がたずさわって、段々畑では芋、麦などが栽培されました。段々畑を造成する際に土止めの石垣を築いた跡が山付近まで残っています。



●沖縄県最短の県道

その名も「沖縄県道188号渡名喜港線」。総延長25mという短さ。あまりに短すぎて地図上で位置が確認できないでいた。写真の左右端に写っている白い標識の間がそれで、沖縄県内を通る国道・県道ではもっとも短い。



●上門家

島の初代村長を勤めた上門家。建築年代は不詳だが、琉球石灰岩の立派な石垣で囲まれ、立派なお屋敷だったことを伝えています。



●カイヤ跡

首里王府より穀物検収のために派遣された役人が、借宿にしていた敷地跡。個人の所有する土地だったが、その由緒ある歴史から村に寄付された。

島尻島の洞窟



●ダイビングスポット

透明度の高い美しい海は、絶好のダイビングスポット。有名な青の洞窟（ブルーホール）や、たくさんのウミガメに遭遇できるポイントもあり期待が高まります。

●代表的なダイビングポイント

グルクノ島



アンジェーラ沖



トンシ沖



●アハラー墓

その昔、渡名喜島との戦いで亡くなった渡嘉敷島阿波連の人のお墓。大きな岩の合間に葬られていて、のぞくと人骨が見えると伝えられています。



●水田

山の上にあるのに水が溢れている不思議な水田で「みふーだー」と呼ばれている。里御嶽の奥にあり、普段はシマノシの際に使用する稲を植えている。



●いちばん深い家

島の家は暴風対策のため路面より掘り下げて建てられています。昔は低いほど金持ち又は働き者と言われていた。この家は現在最も深く高低差1m55cmある。



●タレーマ墓

海で遭難して亡くなった宮古多良間島の人を葬ったお墓と伝えられています。大きな岩の間に人骨をそのまま置いているそうで、入口から見えないように、小さな石を積んで遺骨を守っているようです。



●神の宿る岩（イエーンシジ）

入砂島の神様が海を渡って来るといわれている神聖な場所。地元では「神の岩」と呼ばれています。



●カーシリのヌーチュヌーガ御獄

ここから上に上ると拝所がある。干ばつ時に島の神女たちによる雨乞いの行事が行われる唯一の場所。ただし普段は整備されていないので一人で登るのはやめよう。

●ヤシガニ

じつはいるんですよこの島。最近では、あまり大物が見られなくなりました。（写真提供：伊藤泰人）



採取・捕獲は禁止されていますので観るだけにしましょう！



●天の川

星空がきれに見えるのもこの島の特徴。本島では見にくい星もここならきれい見える。

●リュウゼツラン

50～60年に一度だけ花を咲かせる珍しい植物。ここ渡名喜に自生しており、運がよければその花を見る事ができる。

●昔の歩道

昔は満潮になると海岸線の道が使えなくなった為、険しい山道を登って家に戻っていたが、先人達が苦労してこの道を築き上げた。現在は使用されていない歩道で2億5千万年前の岩肌が露出していて見る者を圧倒させる。



緑のフクギ並木、白砂の道、路面より低く建てられた赤瓦の家。集落全体が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。美しい家並みと大自然、珍しい植物など、ゆっくり探訪してみよう。



●ハブに注意！

渡名喜島はハブが多く生息しています。林道、遊歩道からはずれて山、茂みに入らない様にして下さい。もし、ハブに噛まれた場合は24時間制で救急対応していますのですぐ連絡してください。

《救急連絡先》098-989-2002 渡名喜村役場

●チキシ

昔は各字に5つあった石だが現在は1つだけ。重さ約50～70kgの丸い石でその昔、夜になると若者がこの石を地面にたたきつけて悪霊よけをしていたとのこと。

